

## 長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 優秀

# 税金と助け合い

長岡市立宮内中学校

三年 諸橋 ひじり

私の普段の生活において、何かを購入したら税金を支払うという行為は当たり前のことで、自然と購入する商品の値段に税をプラスしてその商品はいくらくらいするのかを考えている。だが、実際に税金は何のために必要なのか、使い道は何なのか、あるいはなぜ購入する商品の十パーセントもの税金を払わなければならないのかを考えると、何となくという程度で明確な理由は分からなかった。そのことを、学校に来てくださった税理士の方の話で大体理解することができた。

まず、税金は何のために必要なかということだ。私は、国の政策のため、私たちの暮らしを豊かにする何かの商品や施設などをつくるために必要なのではないかと思っていたがその通りであった。個人や企業のみだけではできないたくさんの仕事を、国民全員で助け合う。それが税金を納めるということなのだ。

次に、税金の使い道についてだ。先程の個人や企業のみだけではできない仕事に値する、水道・ごみ処理・教育・年金・医療・介護・福祉・警察・消防・防衛などの仕事に使われる。こ

の中には、自分が普段生活していて関わりのない仕事もある。だから、自分が関わっていないのになぜ全員平等に税金を納めなければならないのかという疑問を持つ人もいるだろう。しかし、直接の関わりはなくてもこれらの仕事は何らかの形で私たちの暮らしに結びついている。今の私からしたら一見関係のない年金や介護も、自分が年をとって働けなくなったり体を悪くしたりするかもしれないと考えたり、現在自分の祖父母がその立場にいて、仮にも年金というシステムや介護がなくなってしまうたら困ると考えれば十分に関係しているといえるのだ。これらのことから、使い道にも助け合いが重視されていることが分かった。

最後に、なぜ購入する商品の十パーセントもの税金を払わなければならないのかということだ。つい最近まで消費税は八パーセントだった。私も十パーセントに引き上げされると知ったとき、今よりさらに値段が上がるのかと驚いた。だが、消費税が上がるということは国が現状をまずいと感じたからだ。私たちの暮らしをさらに豊かにしようとしていると捉えることもできる。現に、コロナウイルスで大変な医療にも私たちが納めている税金が役立っている。他にも、これからあるであろう何かしらの国の政策に期待したい。このように、人助けや世の中を支援することにつながるのならば、消費税が多少高いのかもしれないことも納得できる。

私は、税金に「助け合い」や「人助け」という言葉を見出すことができた。税金に対する考え方が前向きになったから、この考え方を大切にしていきたい。